



ペリオドントロジー& ペリオドンティクス

上巻

月星光博 ● 編著

これからの「ペリオ」の話をしよう



「ペリオの正義」とはなんだろうか？ 歯周病の病因論はさまざまに発展し、多くの治療法が開発されてきた。しかし、歯科医療の発展はいったいどんな朗報を歯周病患者にもたらしたのであるだろうか？ 果たして、科学は正しく臨床に反映されているのであるだろうか？ わが国の歯周治療にコンセンサスは得られているのだろうか？

SCIENCE text book

- ◆ 歯周再生外科療法を「行うか？行わないか？」の判断基準と、その時期をどう決めればいいのか？
- ◆ どのような骨欠損であれば、どれくらいの骨の回復が期待できるのか？
- ◆ 歯周再生治療の補助材料は、どのような役割、どの程度の必要性を持つのか？

ART colour atlas

- ◆ 20～30年以上経過の長期臨床例を多数掲載。
- ◆ 多くのわかりやすい病態・治療像などのイラスト。
- ◆ 見やすいエックス線写真、口腔内写真、CT像が満載。



北米と北欧では1980年代の歯周治療には
以下のような確執があったと感じている。

両者の論争点を端的に表す内容に、
北米の歯周病専門医は歯周病を
「骨の病気」と考えていたのに対し、
北欧の研究者は「歯根膜の病気」とであると
考えていたことがあげられる……。

CONTENTS

- CHAPTER 1 これからの「ペリオ」の話をしよう
- CHAPTER 2 Dr.Ramfjordの10のドグマ
- CHAPTER 3 歯周組織の構造と役割
- CHAPTER 4 歯周病とは
- CHAPTER 5 ペリオドンタルメディシン
——口腔と全身の相互作用
- CHAPTER 6 歯周炎の治療とは
- CHAPTER 7 歯周治療のフロー

[以下、下巻(2019年春・発刊予定)]

- CHAPTER 8 検査と診断
- CHAPTER 9 非外科的歯周治療
- CHAPTER10 外科的歯周治療
- CHAPTER11 インプラント周囲炎の原因と対策
- CHAPTER12 メンテナンス



minimal
intervention
based dentistry

シリーズ MIに基づく歯科臨床

(vol.5下巻も2019年春発刊予定)

- vol.1 外傷歯の診断と治療 増補新版
- vol.2 治癒の歯内療法 新版
- vol.3 コンポジットレジンと審美修復
- vol.4 自家歯牙移植 増補新版
- vol.5 ペリオドントロジー&
ペリオドンティクス(上・下巻)

「シリーズ MIに基づく歯科臨床」を刊行するにあたって

筆者は開業して約30年が経過した。この間、ペリオ、エンド、修復、外傷歯、歯牙移植など、さまざまな歯科臨床に興味をもち、記録を取り続けてきた。そして自分の臨床を振り返るとき、歯の硬組織・歯髄・歯根膜・歯槽骨などに対して、より保存的で、生物学的許容性の高い治療、いいかえれば、できるだけ被せない、抜髄しない、抜歯しない治療、すなわちminimal intervention (MI)の重要性(歯の延命と患者の喜びにつながる)を思い知るにいった。

筆者は長年、クインテッセンス出版の雑誌や本で、多くの症例発表、論文考察の機会をいただいていたが、このたび、それらに新たな知見・考察・臨床経過を大幅に加えて、5つの「シリーズ MIに基づく歯科臨床」として出版する機会をいただいた。多くの読者の共感を得られれば幸いである。

月星光博

きりとり線

注文書

シリーズ MIに基づく歯科臨床 Vol.05 ペリオドントロジー&ペリオドンティクス 上巻

モリタ商品コード:208040143

冊注文します。

●お名前	●貴院名	●ご指定歯科商店
●ご住所 (〒)		
●TEL	●FAX	

支店・営業所

※ご記入いただいた個人情報は、弊社の新刊案内、講演会等の案内に利用させていただきます。
※ご指定歯科商店がない場合は送料をいただき、代金引換宅配便でお送り致します。